

□議員名：水津 治

1 成年後見制度利用促進について

論点	成年後見制度利用促進基本計画にある中核機関設置への取組み状況はどうか。
回答	成年後見制度の普及促進を初め、支援を必要とする人が適切なサービスを利用できるような仕組みづくりが必要と考える。国や県の状況を踏まえて、近隣市や関係機関とも連携し、本市の実情にあった取組みについて検討する。

論点	中核機関設置は法律、国の基本計画の中で義務か、努力目標か。
回答	令和3年度末までに市町村において基本計画を策定するとともに、中核機関を設置しなければならない努力義務である。

2 訪問介護について

論点	本市の訪問介護と現状と課題はどうか。
回答	本市の訪問介護事業所は平成31年3月現在で14の事業所でこれに従事される方が123名である。介護労働者実態調査の中で、山口県の訪問介護員の平均年齢が48.6歳で、そのうちの60歳以上が19%を占める割合である。将来を見据えた場合このあたりが課題となってくると考える。

論点	高齢化が進み、介護従事者の不足が課題となっている、介護職員養成のため介護職員実務者研修及び初任者研修に係る経費に対し助成制度を検討できないか。
回答	現在いろいろな分野で人材が不足している中で、直ちに介護福祉士・ホームヘルパーに助成制度を検討するのは困難である。